



千地申14号

「電気部門の変革2022」を通じて「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある電気職場を創る申し入れ 団体交渉を行う！⑥



23. 駅舎立ち入り届など、立ち入り先に提出する各種書類については、可能な限り各支社共通の様式とするとともに、簡素化すること。

【回答】関係通達に則り取り扱うことになる。

【確認事項】 ・ 千葉支社管内については、様式を統一して指導しているところである。

24. 「上申」による関係箇所とのFAXの手交についてはシステム化すること。

【回答】現行設備で対応されたい。

【確認事項】 ・ 会社としても問題意識は持っており、改善に向けて検討を続けていく。

25. 工事に関する各種書類を簡素化すること。

【回答】小規模、少額外注工事の上限枠拡大により、従来、一般工事で発注していた件名を簡易な契約方式へ移行し、「派遣（交通費）の単金化」「統合作業乗率の集約」等により、積算業務の効率化を実施していくことで設計業務にかかる時間を削減していく考えである。

【確認事項】

・ 法令等の関係からチェックリストの簡素化は難しいため、小規模、少額外注工事の上限枠拡大による「簡易な契約方式への移行」によって労働時間を削減していく考えである。

26. 各種簡素化を実施した後においても、緊張感および感性を磨くため、営業線におけるJR直轄での修繕業務を一定程度実施すること。

【回答】業務に必要な教育・訓練は実施しているところであり、今後も教育内容の充実等により効果的な教育の実施に努めていく考えである。

【確認事項】

・ 現行も営業線における直轄での検査等を実施しており、今後も実施していく考えである。

27. 施策実施後は検証を行い、問題が生じた場合は労使で協議すること。

【回答】具体的な提起がある場合は、「労使間の取扱いに関する協約」（平成30年10月1日）に則り取り扱うこととなる。

【確認事項】 ・ 組合が申し入れを提出した場合は、今後も労使で議論していく考えである。

電気部門で働く仲間の皆さんへ

地本は、電気部門で働く仲間の代表者と団体交渉に臨み、全27項目を議論しました。交渉内容には対立点もありますが、TEMSとの役割分担を明確にするなど、一定の整理を図ることができました。

4月のメセ統廃合ではTEMSへ出向する仲間が生じるほか、モニタリング導入等も段階的に進んでいきます。「担って良かった」と思える施策を目指すため、今後は各種メニューの実施前後で課題を集約し、労使で議論していきますので、問題点については引き続き地本までお知らせ下さい。

交渉に向けた数多くのご意見、ありがとうございました！
「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる施策を創るため、仲間と共に施策実施後の課題を出し合おう！

